

## 実践事例

東北中学校 小林晴雄

臨時休業等の影響により、特に2学年では題材配列を変更して授業を行い、現在新しい題材を模索しながら扱っている最中です。その題材を紹介します。

### 1 題材名 私の白い世界（2学年 絵や彫刻 全7時間）

### 2 題材開発のコンセプト

- 修学旅行を見据えて、日本の美術に関連した内容を扱う。
  - ⇒枯山水：様式美、自然素材（岩や小石）を用いた素朴な美
  - ⇒屏風絵 装飾性 立体的な画面
- 3年生のボックスアートにつながる、構成力や素材を生かす力を高める。
- 抽象表現に親しむ。
- 1時間の中で、やり直しができ、完結する。（臨時休業等も見据えて）



- 色 ・白に限定。模様や素材を用いての構成に焦点化
- 素材 ・砂（小石）の代替素材として、珪藻土を用いる。（アクリルエマルジョンで既に練ってあるもの。壁塗り材。）
  - ・身近素材や自然素材を使用してもよい。（白の素材、もしくは白に着色。各自で用意。）
- 画面 ・B7サイズのボードを一人4枚使用。1時間で1枚完結。4枚一組の連作とし、連結させて屏風状にする。（立てることで、陰影により画面の凹凸が見やすくなる。）

### 3 題材のねらい

主題から4つの画面のテーマや模様を発想し、珪藻土や模様づくりの道具、身近素材などの活かし方を考えながら画面を表現することができる。

### 4 展開案

学習活動	活動内容	留意点等	時間
1 導入	○「枯山水」（龍安寺石庭等）、「屏風絵」（風神雷神図屏風、紅白梅図屏風等）を鑑賞する。 ○題材のねらいや使用する素材等について知る。	・日本の美術、素材の良さに触れる。	0.5
2 試作・構想	○試作を行い、実際に珪藻土に触れることで表現の可能性について考える。 ○試作を基に構想を練る。（主題、テーマとアイデアスケッチ、使えそうな道具や素材）	・共通の素材、道具として、試作用ボール紙、珪藻土、粘土ペラを用意する。	1.5
3 本制作	○1時間に1枚の制作を行う。	・珪藻土が服につかないように注意させる。	4
4 鑑賞・まとめ	○4枚を連結し、屏風状にして相互鑑賞を行う。 ○自己評価の記入をする。		1